

I 奥能登時国家の建築について——建設年代と建設背景の検討……………西 和夫 9

はじめに

一 時国宏家住宅主屋の建設年代

二 時国健太郎家住宅主屋の建設年代

三 時国健太郎家住宅の蔵

おわりに

II 奥能登時国家の古屋敷について……………西 和夫・津田良樹 29

——古屋敷の位置・規模およびそこに建っていた主屋の位置・規模等の検討

はじめに

一 古屋敷の位置と範囲の推定について——一九九一年度の発掘範囲選定の経過

二 一九九二年度の発掘範囲決定の経過

三 文献史料からみた屋敷地と主屋

四 地籍図・『実測図面』および現状地形からみた屋敷地と主屋

五 発掘成果に対する解釈

おわりに

III 奥能登時国家墓地の調査——上時国家「古墓」を中心に……………吉岡康暢・窪田涼子 45

浜野伸雄・近間 強

森本伊知郎

一 位置および現況

二 歴代墓地の概要

三 墓標の検討

四 近世墓制と時国家

IV 「赤堂」の空風輪……………窪田涼子 99

V 岩倉寺の中世石造物について……………窪田涼子 105

はじめに

輪島市域および岩倉寺の中世石造物の概要

岩倉寺中世石造物の種類とデータ

岩倉寺五輪塔の造立年代について——試論  
おわりに

## Ⅵ 時国古屋敷遺跡の発掘調査(一)……………

……………時国古屋敷遺跡発掘調査団

131

吉岡康暢・河村好光・森本伊知郎・千田  
嘉博・浜野伸雄・金沢大学考古学研究会

はじめに

一 予備的検討

二 発掘調査と遺構の検出

三 出土遺物の概要

四 出土遺物の検討

小結

## Ⅶ 時国古屋敷遺跡の発掘調査(二)……………

……………時国古屋敷遺跡発掘調査団

179

第一部 発掘調査と遺構の検討……………

……………河村好光

181

はじめに

一 発掘調査の観点と目的

二 事前の検討と前年度の調査成果

三 発掘調査と遺構の検出

四 時国古屋敷の復元

五 近世時国古屋敷の成立

むすび

第二部 時国家古屋敷跡出土遺物に関する考察……………森本伊知郎

233

一 遺物の出土状況

二 遺物の概要

三 出土遺物の検討

四 出土遺物からみた時国家古屋敷

五 小結